

一般社団法人HPCIコンソーシアム第2回総会次第

日時:平成 25 年 5 月 27 日(月) 17 時 00 分～19 時 00 分

場所:東京大学 生産技術研究所 D 棟 6 階 Dw601 会議室
(東京都目黒区駒場4丁目6番1号)

<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html>

【1. 定足数の確認・開会宣言】

【2. 審議事項】

議案第 1 号 平成 24 年度事業報告

議案第 2 号 平成 24 年度会計報告および監査報告

議案第 3 号 平成 25 年度事業計画

議案第 4 号 平成 25 年度予算

議案第 5 号 理事の交代

【3. 報告事項】

報告第1号 会員状況

報告第2号 将来のスーパーコンピューティングのあり方の検討状況について

報告第3号 HPCI コンソーシアムワーキンググループの設置について

報告第4号 役員選出方法について

報告第5号 HPCI課題利用の状況と平成25年度の予定

報告第6号 今後のスケジュールについて

【4. 閉会宣言】

【議案第1号】

平成 24 年度事業報告

平成 24 年度事業報告について審議を行いたい。(資料 1)

平成 25 年 5 月 27 日提出

一般社団法人HCPIコンソーシアム
理事長 宇 川 彰

平成 24 年度事業報告書

自 平成 24 年 4 月 2 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

平成 25 年 5 月 27 日



一般社団法人 HPCI コンソーシアム

目次

1. 法人全般に関わる事項.....	3
1.1. 役員	3
1.2. 理事会開催状況.....	4
1.3. 総会開催状況.....	5
1.4. 許可・認可・承認に関する事項.....	5
1.5. 会員数.....	6
2. 法人の整備	6
3. 事業の状況.....	6
3.1 HPCI システムの整備と運用改善に関する事業	6
3.2. 計算科学技術の振興に関する事業	6
(1) コミュニティの拡充.....	6
(2) 将来のスーパーコンピューティングのあり方の検討.....	7
(3) 産業利用の促進.....	7
(4) 人材育成方針の検討.....	7
4. その他	7

1. 法人全般に関わる事項

1.1. 役員

役名	氏名	就任年月日	理事別	職
設立時代表理事	宇川 彰	2012. 02. 03	理事長	国立大学法人筑波大学副学長・理事
設立時理事	藤井 孝藏	2012. 02. 03	副理事長	独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所副所長・教授
〃	石川 裕	2012. 02. 03	理事	国立大学法人東京大学情報基盤センター長
設立時監事	小林 広明	2012. 02. 03	監事	国立大学法人東北大学サイバーサイエンスセンター長

役名	氏名	就任年月日	理事別	職（代表する機関）
代表理事	宇川 彰	2012. 06. 06	理事長	国立大学法人筑波大学副学長・理事 (筑波大学計算科学研究センター)
理事	藤井 孝藏	2012. 06. 06	副理事長	独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所副所長・教授 (一般社団法人日本流体力学会)
〃	石川 裕	2012. 06. 06	理事	国立大学法人東京大学情報基盤センター長 (東京大学情報基盤センター)
〃	加藤 千幸	2012. 06. 06	〃	国立大学法人東京大学生産技術研究所教授 (東京大学生産技術研究所)
〃	関口 智嗣	2012. 06. 06	〃	独立行政法人産業技術総合研究所 情報通信・エレクトロニクス分野 副研究統括 (独立行政法人産業技術総合研究所情報技術研究部門)
〃	高田 章	2012. 06. 06	〃	旭硝子株式会社中央研究所特任研究員 (スーパーコンピューティング技術産業応用協議会)
〃	常行 真司	2012. 06. 06	〃	東京大学大学院理学系研究科物理学専攻教授 (計算物質科学イニシアティブ)
〃	中島 浩	2012. 06. 06	〃	国立大学法人京都大学学術情報メディアセンター教授 (京都大学学術情報メディアセンター)
〃	米澤 明憲	2012. 06. 06	〃	独立行政法人理化学研究所計算科学研究機構副機構長 (独立行政法人理化学研究所計算科学研究機構)
〃	渡邊 國彦	2012. 06. 06	〃	独立行政法人海洋研究開発機構地球シミュレーターセンター長
監事	小林 広明	2012. 06. 06	監事	国立大学法人東北大学サイバーサイエンスセンター長 (東北大学サイバーサイエンスセンター)

1.2. 理事会開催状況

理事会	開催日	議案	結果	報告・その他
第1回	2012. 05. 09	1. 新規加入・変更申込者の審査について 2. 法人内規について 3. 第1回社員総会の日程・次第について 4. 法人設立時の収支決算について 5. 平成24年度の事業計画及び収支予算案について 6. 役員人事について	1. 承認 2. 承認 3. 承認 4. 承認 5. 承認 6. 承認	1. 加入申込状況について 2. 法人用のサーバの契約状況について
第2回	2012. 05. 21	1. 新規加入・変更申込者の審査について 2. 第1回社員総会の招集通知、次第、議案について	1. 承認 2. 承認	
第3回	2012. 06. 01	1. 新規加入・変更申込者の審査について	1. 承認	1. ユーザコミュニティの名称、参加会員形態について調整中の機関について
第4回	2012. 06. 06	1. 議長・副議長に選出された会員に係る追加代表の加入審査について	1. 承認	
第5回	2012. 06. 06	1. 理事長及び副理事長の選定について	1. 承認	
第6回	2012. 06. 15	1. 正会員に係る変更について 2. 新規加入申込者の加入審査について 3. 平成25年度HPCIシステムの整備と運用の方針について	1. 承認 2. 承認 3. 承認	その他 (1)HPCI システムの利用課題公募について (2)今後の事業の進め方について (3)会員拡充策等について
第7回	2012. 07. 23	1. 新規会員加入審査及び正会員に係る変更について 2. アソシエイト会員の加入承認に関する権限の移譲について 3. 会費の収受及び予算執行に係る規則の制定について 4. 一般社団法人HPCI コンソーシアムへの企業参加に関する基本方針について 5. 担当理事の分担・役割について 6. 事業計画について	1. 承認 2. 承認 3. 承認 4. 不承認 5. 承認 6. 承認	1. 事務スーパーバイザ及び事務局業務委託契約について 2. 活動報告 3. HPCI 課題申請状況及び関係機関との意見交換について
第8回	2012. 10. 29	1. 新規正会員加入審査 2. 会員拡充策 3. 国への提言(トライアルユース期間について)	1. 承認 2. 承認 3. 不承認	1. 会員入退会状況 2. システム構成機関としての法人参加とHPCI システムに計算資源を提供する機関に関する承認手続 3. 財務状況 4. 広報状況 5. HPCI システムの整備と運用状況 6. 計算科学技術の振興に関わる意見集約と活動報告 7. 将来のスーパーコンピューティングに関わる意見集約報告

第9回	2013. 01. 21	1. 平成 25 年度事務局業務委託契約の件	1. 承認	1. 財務状況 2. 会員入退会状況 3. 会員拡充策 4. HPCI システム構成機関に関する技術審査内容 5. 人材育成方策への対応 6. 将来のスーパーコンピューティングのあり方に関する提言 7. ワークショップ協賛について 8. 日本学術会議第 22 期マスタープランへの対応状況 9. 平成 25 年度予算案及び事業計画案
第 10 回	2013. 02. 13	1. 将来のスーパーコンピューティングのあり方に関する提言について	1. 承認	1. HPCI システムの資源提供について 2. 会員拡充策について 3. 日本産業技術大賞への推薦について

1.3. 総会開催状況

総会	開催日	議案	結果	開催場所	出席者数
通常総会	2012. 06. 06	【報告事項】 第1号 法人設立までの経緯について 第2号 法人の事務運営体制について 【審議事項】 第1号 設立時貸借対照表について 第2号 会費について 第3号 平成24年度事業計画及び収支予算について 第4号 役員人事について	審議事項第1号～第4号はいずれも提案通り可決された	東京大学生産技術研究所 An 棟3階 大会議室	議長・副議長選出前：27 人（内代理人 6 人、議決権行使者 0 人） 議長・副議長選出後：31 人（内代理人 7 人、議決権行使者 0 人）
臨時総会	2013. 03. 04	【審議事項】 第1号 将来のスーパーコンピューティングのあり方についての提言（中間報告案）について 【その他】 第1号 HPCI 利用促進活動状況について 第2号 前回総会後の HPCI コンソーシアムの主な活動について 第3号 会員の交替手続きについて（資料 4）	審議事項第1号は提案通り可決された	東京大学生産技術研究所 D 棟 6 階 Dw601 会議室	35 人（内代理人 8 人、議決権行使者 2 人）

1.4. 許可・認可・承認に関する事項

年月日	申請事項	許可等年月日	備考
2012. 04. 02	一般社団法人設立登記	2012. 04. 02	
2012. 06. 06	理事追加登記	2012. 08. 02	

1.5. 会員数

年月日	正会員		アソシエイト 会員	合計
	ユーザコミュニ ティ機関	システム構成 機関		
2012. 04. 02	12	19	4	35
2012. 06. 06	11	21	5	37
2013. 03. 31	15	22	13	50

2. 法人の整備

法人運営支援業務（事業計画・予算立案支援、意思決定に係るスケジュール管理、各種会議の運営支援等）を目的として事務スーパーバイザを業務委託することとした。事務スーパーバイザは、理事会と下記事務代行会社の間の連絡調整業務及び事務代行会社に対する指示業務（各種資料作成、社員総会・理事会開催準備詳細等）にも当たることとした。事務スーパーバイザとして、清水大三氏と平成 24 年 6 月 25 日に事務業務委託契約を締結した。

定型的な事務業務（入退会処理・名簿管理、会費徴収管理、出納業務、社員総会・理事会開催、監査業務、各種窓口業務）については事務代行会社に委託することとし、(株) 中西印刷と平成 24 年 6 月 30 日に事務業務委託契約を締結した。

3. 事業の状況

3.1 HPCI システムの整備と運用改善に関する事業

平成 24 年度に運用を開始した HPCI システムの平成 25 年度の整備と運用の方針について、現状のシステム構成、運用方針を基本としつつ、運用上必要な改善にも対応できるようにすること、を国に提言した。（平成 24 年 6 月 15 日付）

平成 24 年 5 月に公募が開始された HPCI 利用課題については平成 25 年度末までと期間が長いことから追加公募を求めるユーザの声が多くあったことに鑑み、登録機関に対して平成 24 年度中の HPCI システムの利用状況等を踏まえ、可能な範囲で追加公募を実施することを要望した。（追加公募は平成 25 年 3 月 14 日から開始された。）

システム構成機関としての HPCI コンソーシアムへの参加と HPCI システムへの資源提供は必ずしも一致しない。HPCI コンソーシアムへの加入にあたっての審査の内容と範囲、HPCI システムへの資源提供に際して理化学研究所計算科学研究機構運用部門が技術企画・調整業務の一環として行う技術審査、以上を踏まえての HPCI コンソーシアムから国への連絡の関係を整理し、該当する一機関（独立行政法人海洋研究開発機構地球シミュレーターセンター）に適用した。

この整理の過程において、技術審査基準の制定（平成 25 年 1 月 9 日）に理事及び会員が協力した。

3.2. 計算科学技術の振興に関する事業

(1) コミュニティの拡充

①ウェブサイト構築による情報公開の実施

HPCI コンソーシアムのウェブサイトを構築し平成 24 年 8 月 31 日に公開した。平成 25 年 3 月

には英語版を公開するとともに、ホームページにセキュリティ管理システムを導入し、入会申込書などの書類がホームページからもダウンロードできるようにした。

②会員拡充方法の策定

計算科学技術関連コミュニティの意見集約、意見交換・情報共有の場の提供、これらの活動を支える財政基盤の強化等の観点から一層の会員拡充が必要であるとの認識の下に、学協会や法人等の正会員への勧誘及びユーザ会を持つハード・ソフトベンダーのアソシエイト会員への勧誘等を盛り込んだ会員拡充策を策定した。

(2) 将来のスーパーコンピューティングのあり方の検討

次期システムのあり方について、理化学研究所計算科学研究機構の運営企画・調整業務において設置された「将来のスーパーコンピューティングの在り方に関する調査検討 WG」（主査中島浩理事）と協力して検討を行った。WG は4回開催された（第1回：平成24年8月28日 第2回：平成24年10月15日 第3回：平成24年11月20日 第4回：平成25年1月17日）。

次期システムを含む我が国の今後の計算科学技術体制のあり方について、理化学研究所計算科学研究機構の運営企画・調整業務において設置された「将来のスーパーコンピューティングの体制の在り方に関する調査検討 WG」（主査藤井孝蔵理事）と協力して検討を行った。WG は3回開催された（第1回：平成24年10月26日 第2回：平成24年11月28日 第3回：平成25年1月15日）。

両WGの合同WG（平成25年2月4日）及び両WGとHPCI コンソーシアム会員との意見交換会（平成25年2月7日）を経て「スーパーコンピューティングのあり方についての提言-中間報告案-」が纏められ、平成25年3月4日のHPCI コンソーシアム臨時総会で決定され、同3月4日付けで国に提言した。

(3) 産業利用の促進

理化学研究所計算科学研究機構の運営企画・調整業務において設置された「産業利用促進に関する調査検討WG」（主査高田章理事）と協力し、HPCI 利用課題における産業利用の促進について検討を行い、トライアルユースのあり方についてHPCI コンソーシアム理事会で報告した。

(4) 人材育成方針の検討

人材育成方針について、特に産業界の必要とする人材育成の観点から検討の方向性について準備を行った。

4. その他

共催・後援・協賛・推薦事業

1. 【共催】平成24年6月24日「京コンピュータ・シンポジウム 2012」（主催：独立行政法人理化学研究所ほか）
2. 【推薦】平成25年1月28日「スーパーコンピュータ『京』の開発ならびに共用」（第42回日本産業技術大賞：日刊工業新聞社）
3. 【協賛】平成25年2月2日「第8回戦略的高性能計算システム開発に関するワークショップ」（主催：東北大学サイバーサイエンスセンターほか）
4. 【共催】平成25年2月7日「将来のスーパーコンピューティングのあり方に関する意見交換会」

(共催:独立行政法人理化学研究所計算科学研究機構)

5. 【共催】平成 25 年 3 月 12～13 日「第 17 回 Workshop on Sustained Simulation Performance」(主催:東北大学サイバーサイエンスセンターほか)
6. 【協賛】平成 25 年 3 月 14～15 日「平成 24 年度『京』を中核とする HPCI システム利用研究課題中間報告会」(主催:一般財団法人高度情報科学技術 研究機構)
7. 【協賛】平成 25 年 3 月 18～19 日「第 1 回戦略的高性能計算システム開発に関する国際ワークショップ」(主催:東北大学サイバーサイエンスセンターほか)

【議案第2号】

平成 24 年度会計報告および監査報告

平成 24 年度会計報告および監査報告について審議を行いたい。(資料2)

平成 25 年 5 月 27 日提出

一般社団法人HCPIコンソーシアム
理事長 宇 川 彰

平成24年度会計報告書

自 平成24年4月2日
至 平成25年3月31日

平成25年5月9日

HPCI High Performance
Computing Infrastructure

一般社団法人 HPCIコンソーシアム

理事長 宇川彰

財務担当理事 常行 真司

平成24年度の会計報告について監査を行い本報告のとおり
正確に記帳整理されていることを認める。

監事 小林 広明

一般社団法人HPCIコンソーシアム 2012年度正味財産増減報告書
(自2012年4月2日 至 2013年3月31日)

(単位:円)

科目	予算額	当年度決算	前年度決算
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	6,400,000	6,800,000	
受取利息	0	323	
経常収益計	6,400,000	6,800,323	
(2) 経常費用			
事業費			
通信費	249,330	162,359	
調査費	500,000	0	
会議費	500,000	207,249	
広報費	1,000,000	1,261,207	
管理費			
通信費	0	4,250	
支払手数料	0	14,070	
備品費	0	16,998	
印刷製本費	0	1,050	
支払報酬	350,000	350,000	
委託費	3,500,000	3,395,325	
経常費用計	6,099,330	5,412,508	
当期経常増減額	300,670	1,387,815	
2.経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	
創立費	300,670	311,945	
経常外費用計	300,670	311,945	
当期経常外増減額	-300,670	-311,945	
当期一般正味財産増減額	0	1,075,870	
一般正味財産期首残高	0	0	
一般正味財産期末残高	0	1,075,870	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	
III 正味財産期末残高	0	1,075,870	

一般社団法人HPCIコンソーシアム 2012年度貸借対照表
(2013年3月31日現在)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I.資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,771,370		
未収会費	200,000		
前払費用	9,800		
流動資産合計	1,981,170		
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0		
(2) 特定資産	0		
(3) その他固定資産	0		
固定資産合計	0		
資産合計	1,981,170		
II.負債の部			
1. 流動負債			
未払金	892,850		
預り金	12,450		
流動負債合計	905,300		
2. 固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計	905,300		
III.正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0		
2. 一般正味財産	1,075,870	0	0
正味財産合計	1,075,870		
負債及び正味財産合計	1,981,170	0	0

【議案第3号】

平成 25 年度事業計画

平成 25 年度事業計画について審議を行いたい。(資料3)

平成 25 年 5 月 27 日提出

一般社団法人HCPIコンソーシアム
理事長 宇 川 彰

平成 25 年度事業計画

一般社団法人 HPCI コンソーシアムは、HPCI システムの整備と運用、計算科学技術の振興、将来のスーパーコンピューティングといった事項について、我が国の計算科学技術に関わるコミュニティの幅広い意見を集約し、その推進を図るとともに、その実現を図ることを目的として国及び関係機関へ提言を行うことにより、コンソーシアムの理念を達成するものである。

このため、平成 25 年度においても、前年度に引き続き、法人としての基本的な活動形態を整え、広報、渉外活動の充実に努める。

また、HPCI システムの整備と運用に係る基本方針の検討、産業利用促進策の検討、人材育成方策の検討、我が国全体の計算機資源の有効活用と整備の在り方の基本方針などを含めた将来のスーパーコンピューティングの検討、海外の関連組織との連携といった事項について、国や関係機関における検討状況や取組状況なども踏まえて、活動のための実施計画を策定し、関連コミュニティや会員との意見交換などの手法を通じて、我が国の計算科学技術に関わるコミュニティの幅広い意見を集約し、必要に応じて国及び関係機関への提言を行う。

なお、HPCI の運營業務担当機関や関係コミュニティとの連携を図ることにより、効率的、効果的な活動を行う。

1. HPCI システムの整備と運用改善に関する事業

平成 24 年度に運用を開始した HPCI システムの平成 25 年度の整備と運用の方針について、現状のシステム構成、運用方針を基本としつつ、運用上必要な改善にも対応できるようにすること、を国に提言をする。

2. 計算科学技術の振興に関する事業

(1) コミュニティの拡充

①ウェブサイト構築による情報公開の実施

HPCI コンソーシアムのウェブサイトの活用によりコンソーシアム活動の広報に努めるとともに、ホームページから各種申請書を扱えるように充実する。

②会員拡充方法の策定

計算科学技術関連コミュニティの意見集約、意見交換・情報共有の場の提供、これらの活動を支える財政基盤の強化等の観点から会員拡充策を継続して実施する。

(2) 将来のスーパーコンピューティングのあり方の検討

次期システムのあり方について、理化学研究所計算科学研究機構の運営企画・調整業務において設置された「将来のスーパーコンピューティングに関する調査検討 WG」（主査藤井孝藏理事）と協力して検討を進め、「スーパーコンピューティングのあり方についての提言を纏め、国に提言する。

(3) 産業利用の促進

理化学研究所計算科学研究機構の運営企画・調整業務において設置された「産業利用促進に関する調査検討 WG」（主査高田章理事）と協力し、HPCI 利用課題における産業利用の促進について検討を継続して行う。

(4) 人材育成の検討

人材育成について、産業界の必要とする人材育成を含め継続的に検討を進める。

3. その他

関連する有用な事業に対し、共催・後援・協賛・推薦などを行う。

業務計画（HPCIシステムの整備・運用の基本方針の検討）（案）

業務担当理事：米澤、石川（下線：主担当）

1. 年次計画

（1）業務内容

HPCIシステムの整備と運用に関わる意見集約業務のうち、システムの整備・運用の基本方針（HPCIシステムに関する整備・運用状況の把握、問題点の抽出）の検討

（2）業務の目標

HPCIシステムの整備・運用状況を適宜把握しつつ、システムの改善要望等の調査・検討を行い、結果をHPCIの構築・運用に反映

2. 実施計画

（1）実施体制

- ・ 理研AICSが実施するHPCI運営企画・調整業務や、技術企画・調整業務と連携し、HPCIシステムに関する整備・運用状況を把握、問題点を抽出し、改善方針を検討

（2）実施方法

- ・ <平成25年10月～>RISTとの意見交換などを通じて、HPCIシステム稼働状況の把握
- ・ <平成25年12月～平成26年2月>コンソーシアム会員やHPCI運営業務実施機関などを対象として、HPCIシステムの改善に関するアンケート調査を実施
- ・ <平成26年3月>アンケート調査結果を活用しつつ、状況に応じてWGを設置し、今後のHPCIシステムの整備と運用の基本方針を検討

業務計画（産業利用の促進策の検討）（案）

業務担当理事：高田

1. 年次計画

（1）業務内容

計算科学技術の振興に関わる意見集約と活動業務のうち、産業利用の促進策の検討

（2）業務の目標

- ＜平成25年度＞HPCIシステム利用による早期成果創出と、今後のシステム運用に向けた改善意見の集約
- ＜平成26年度以降＞中長期的に実施する産業利用促進策の具体化と、利用実態に応じた利用環境・利用者支援等の内容の検討

2. 実施計画

（1）実施体制

- ・ 理研AICSやRIST、FOCUSなどのHPCI運営業務実施機関と連携し、産業利用促進策の検討を実施

（2）実施方法

- 理化学研究所計算科学研究機構の運営企画・調整業務において設置された「産業利用促進に関する調査検討WG」との協力を活動の中心とする。
- ・ ＜平成25年4月～9月＞HPCIシステムの産業利用の実態調査・改善要望の意見集約を実施
 - ・ ＜平成25年10月～平成26年3月＞利用者拡大のための広報活動、利用環境・利用支援の内容・課題選定のあり方など具体的な産業利用促進策をとりまとめ

業務計画（会員拡充、ホームページの運用・改善、啓蒙活動の実施）（案）

業務担当理事：加藤

1. 年次計画

（1）業務内容

会員拡充・ホームページの運用・改良、啓蒙活動

（2）業務の目標

- 計算科学技術の振興のための広報・普及啓発活動の活性化
- より多くの構成員に参加いただけるような、開かれたコンソーシアムの確立

2. 実施計画

（1）実施体制

- ・ コンソーシアム構成機関やHPCI運営業務実施機関と連携し、業務を実施

（2）実施内容

- ・ <会員拡充>平成24年度に策定した拡充策に従って、会員を拡充する
- ・ <ホームページの運用・改良>英語版や各種書類のダウンロードページも含めたホームページを運用し、必要に応じて改善していく。
- ・ <啓蒙活動>一般市民も含めて、HPCIへの理解を高めるためのコンテンツをホームページに掲載するとともに、市民フォーラムなどの開催について検討する。

業務計画（将来のスーパーコンピューティングに関わる意見集約）（案）

業務担当理事：藤井、中島、米澤、宇川、渡邊
（下線：主担当）

1. 年次計画

（1）業務内容

将来のスーパーコンピューティングの検討

（2）業務の目標

- ・ 計算科学技術に関わるコミュニティの幅広い意見を集約し、国の検討スケジュールに同期した形で提言
- ・ アプリケーション開発およびシステム運用の現場での課題や将来的方向性に立脚した意見を集約
- ・ 平成24年度に取りまとめた提言案（中間報告案）を精緻化するとともに、アプリケーション開発・利用支援などについてより具体的・実効的な提言を最終報告に向けて取りまとめ
- ・ 国および関係機関による次期システムの開発計画等を精査し、それらに対するコミュニティの意見を取りまとめ

2. 実施計画

（1）実施体制

運営企画・調整（理研AICS）と連携し、将来のスーパーコンピューティングに関する事項の検討を実施する。

（2）実施方法

- ・ ＜平成25年4月～6月＞
 - ✓ 中間報告案フォローアップおよび中間報告取りまとめ
 - ✓ アプリケーション開発・利用支援などの検討項目整理
 - ✓ 次期システム開発計画等の精査・確認項目整理
- ・ ＜平成25年7月～10月＞
 - ✓ 最終報告に盛り込む提言内容検討およびコミュニティとの意見交換
 - ✓ 次期システム開発計画等に関する関係機関との意見交換
- ・ ＜平成25年11月～12月＞最終報告案取りまとめ
- ・ ＜平成26年1月～2月＞最終報告案について理事・会員との意見交換
- ・ ＜平成26年3月＞最終報告取りまとめ

【議案第4号】

平成 25 年度予算

平成 25 年度予算について審議を行いたい。(資料4)

平成 25 年 5 月 27 日提出

一般社団法人HCPIコンソーシアム
理事長 宇 川 彰

一般社団法人HPCIコンソーシアム 2013年度予算書
(自2013年4月1日 至 2014年3月31日)

科目	2012年度予算額	2012年度実績	2013年度予算
I 収入の部			
会費収入	6,400,000	6,800,000	6,800,000
利息収入		323	0
収入合計	6,400,000	6,800,323	6,800,000

II 支出の部				
事業活動費支出	通信費	249,330	162,359	155,000
	調査費	500,000	0	500,000
	会議費	500,000	207,249	210,000
	広報費	1,000,000	1,261,207	1,500,000
管理費支出	通信費	0	4,250	5,000
	支払手数料	0	14,070	5,000
	備品費	0	16,998	0
	印刷製本費	0	1,050	0
	支払報酬	350,000	350,000	350,000
	委託費	3,500,000	3,395,325	3,500,000
	雑費	0	0	60,000
参考:経常外費用	創立費	300,670	311,945	0
予備費支出		0	0	1,590,870
支出合計		6,400,000	5,724,453	7,875,870
当期収支差額			1,075,870	(1,075,870)
前期繰越収支差額			0	1,075,870
次期繰越収支差額			1,075,870	0

【議案第 5 号】

理事の交代

理事の交代について審議を行いたい。

一般社団法人 HPCI コンソーシアムにおけるスーパーコンピューティング技術産業応用協議会代表が高田彰氏から笠俊司氏に交代したことに伴い、高田彰氏が理事退任を申し出たため、笠俊司氏を新たに理事としたい。

平成 25 年 5 月 27 日提出

一般社団法人HPCIコンソーシアム
理事長 宇 川 彰

【報告第1号】

会員の入退会および交代について

会員の入退会および交代について報告する。(資料5)

平成 25 年 5 月 27 日提出

一般社団法人HCPIコンソーシアム
理事長 宇 川 彰

会員の入退会は3月4日臨時総会以後はない。

会員の変更は以下の通りである。

○ユーザーコミュニティ代表機関代表者名

会員番号	所属機関	変更前	変更後
5	スーパーコンピューティング技術産業応用協議会	高田 章	笠 俊司

○HPCIC システム構成機関代表者名

会員番号	所属機関	変更前	変更後
13	筑波大学 計算科学研究センター	佐藤 三久	梅村 雅之
16	情報・システム研究機構 国立情報学研究所	坂内 正夫	喜連川 優
20	大阪大学 サイバーメディアセンター	中野 博隆	西尾 章治郎

○アソシエイト会員代表者名

会員番号	所属機関	変更前	変更後
46	分子シミュレーション研究会	河村 雄行	岡崎 進
37	公立大学法人兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科	佐藤 哲也	太田 勲

【報告第2号】

将来のスーパーコンピューティングのあり方の検討状況について

将来のスーパーコンピューティングのあり方の検討状況について報告する。(資料6)

平成 25 年 5 月 27 日提出

一般社団法人HCPIコンソーシアム
理事長 宇 川 彰

将来のスーパーコンピューティングの検討状況について

1. 3月開催の臨時総会以降の状況について

3月4日のHPCIコンソーシアム臨時総会において、「将来のスーパーコンピューティングのあり方についての提言(中間報告案)が了承されたことを受けて、3月5日に宇川理事長から文部科学省吉田研究振興局長に本文書が手交された。

本提言に関わる3月までの検討体制は以下であり、具体的に理研計算科学研究機構に実質3つのWGを立ち上げ、それぞれに検討を進めてきた。

- (1) 将来のスーパーコンピューティングの在り方に関する調査検討WG(中島主査)
- (2) 将来のスーパーコンピューティングの体制の在り方に関する調査検討WG(藤井主査)
- (3) 産業利用促進に関する調査検討WG(高田主査)
- (4) 人材WG(関口主査) -平成24年度内は設置を見送り

今後、コンソーシアム中間報告(最終版)にむけて、いくつかの項目に関して詳細検討が急がれること、また年度末に予定されているコンソーシアム最終報告策定に向けて各WGの検討内容を統合した議論が求められる。そのため、4月以降の検討体制として、以下のように全体を1つのWGへと変更した。なお、形式上、上記WGも当面は継続としている。

将来のスーパーコンピューティングに関する調査検討WG(新藤井WG)の構成員

主査	藤井 孝藏	独立行政法人宇宙航空開発機構宇宙科学研究所	教授
	青柳 睦	九州大学情報基盤研究開発センター長	教授
	石川 裕	東京大学情報基盤センター長	情報理工学研究科 教授
	伊藤 聡	独立行政法人理化学研究所計算科学研究機構	コーディネーター
	木寺 詔紀	横浜市立大学生体超分子システム科学専攻	教授
	沢田 龍作	トヨタ自動車(株)エンジンプロジェクト推進部	
	関口 智嗣	独立行政法人産業技術総合研究所	副研究統括
	常行 真司	東京大学大学院理学系研究科	教授
	中島 浩	京都大学学術情報メディアセンター長	
	堀 宗朗	東京大学地震研究所災害科学系研究部門	教授
	南 一生	独立行政法人理化学研究所計算科学研究機構運用技術部門 ソフトウェア技術チーム	チームヘッド
	米澤 明憲	独立行政法人理化学研究所計算科学研究機構	副機構長

3. 検討項目

① 頂点に立つ次期システムの構成や拠点機能の内容確認

- 主担当委員：藤井主査、中島委員
- 想定される拠点機関が示す、ハードウェア、ソフトウェア技術に関する将来計画、システム構成、拠点機能に関する計画案の確認項目の策定

② 第二階層として開発するシステムの構成や拠点機能の内容確認

- 主担当委員：藤井主査，石川委員
- 想定される拠点機関が示す，ハードウェア，ソフトウェア技術に関する将来計画，システム構成，拠点機能に関する計画案の確認項目の策定
- ③ システムの設置・運用体制構築のあり方に関する制度面の検討
 - 主担当委員：青柳委員，常行委員，米澤委員
 - 大学の情報基盤センターなどの役割・機能の見直しの検討
 - 機関連携によるシステム設置・運用体制構築に関する制度面の検討
- ④ アプリケーション開発・利用支援の検討
 - 主担当委員：中島委員，木寺委員，常行委員，堀委員，南委員
 - 頂点に立つシステムを含むH P C I システムの利用目的を想定したアプリケーション開発・利用支援の検討
- ⑤ 産業利用・振興策に関する取組みのあり方の検討
 - 主担当委員：沢田委員，伊藤委員，南委員
 - 頂点に立つシステムを含むH P C I システムの利用目的を想定した産業利用・振興策に関する取組みのあり方の検討
- ⑥ 人材育成方策等の検討
 - 主担当委員：関口委員，伊藤委員，沢田委員、南委員
 - 計算機科学，計算科学の双方に精通したアプリケーション開発・維持に関する人材や計算アルゴリズムの開発などを担う人材育成方策
 - 人材のキャリアパス構築策
 - H P C I 計画の推進にとって必要な人材とその育成方法

4. スケジュール

- 3月28日（木）：第1回将来のスーパーコンピューティングに関する調査検討WG
 - ✓ 検討項目，担当委員及び中間報告策定に向けたスケジュールの議論
- 5月27日（月）：第2回将来のスーパーコンピューティングに関する調査検討WG
 - ✓ 最終報告の策定に向けた検討項目の精緻化，検討の進め方を記載した AICS 中間報告の策定

以下は，参考情報（本 WG 活動に関連してコンソーシアムが実施する会合予定）

- 6月10日（月）：HPCIC 主催の拠点候補計画案の内容確認意見交換会
 - ✓ HPCI コンソ次期システム拠点候補確認委員会による拠点候補の計画案の内容確認
- 6月14日（金）：第11回 HPCI コンソーシアム理事会
 - ✓ 藤井理事より，AICSWG の検討結果を理事会に報告
- 6月17日（月）：HPCI コンソーシアム臨時総会
 - ✓ HPCI コンソーシアム中間報告の策定

【報告第3号】

HCPI コンソーシアムワーキンググループの設置について

HCPI コンソーシアムワーキンググループの設置について報告する。(資料7)

平成 25 年 5 月 27 日提出

一般社団法人HCPIコンソーシアム
理事長 宇 川 彰

HPCI コンソーシアムにおけるワーキンググループの設置について

HPCIコンソーシアム理事長 宇川彰

HPCIコンソーシアム副理事長 藤井孝藏

1. 経緯

本総会の報告第2号の資料にある通り、AICS 設置の「将来のスーパーコンピューティングに関する調査検討WG」からの報告を踏まえ、コンソーシアムとして「頂点に立つシステムを担う拠点候補が示す計画案」を確認することが必要となる。

2. 趣旨・目的

一般社団法人 HPCI コンソーシアムは、平成25年3月4日付で文部科学省に将来のスーパーコンピューティングのあり方についての提言(中間報告案)を行った。その提言の中で、頂点に立つシステムを担う拠点について、「国が戦略に基づいて決定し、(中略)HPCI コンソーシアムは、国の決定にあたり拠点が示すシステム構成や想定する拠点機能の内容を確認する」と明言したところである。

HPCI コンソーシアムは、想定される拠点機関が示すハードウェア、ソフトウェア技術に関する将来計画、システム構成拠点機能に関する計画案を確認するため、定款第25条2項5号に基づき、HPCI コンソーシアム内に「頂点に立つシステム拠点候補の適格性確認 WG(通称:システム拠点候補確認委員会)」を立ち上げたい。

※次期システムの構成や拠点機能の内容確認においては、NDA 情報は求めない

※拠点候補が現段階で想定している範囲での議論であること

3. HPCI コンソーシアム WG

➤ 構成メンバー

- ✓ 藤井孝藏(独立行政法人宇宙航空開発機構宇宙科学研究所)
- ✓ 青柳睦(九州大学情報基盤研究開発センター)
- ✓ 沢田龍作(トヨタ自動車(株)エンジンプロジェクト推進部)
- ✓ 関口智嗣(独立行政法人産業技術総合研究所)
- ✓ 常行真司(東京大学大学院理学系研究科)
- ✓ 中島浩(京都大学学術情報メディアセンター)

4. 進め方

➤ スケジュール

- ✓ HPCI コンソーシアム理事会にて審議(5月9日(木))(承認済み)
- ✓ HPCI コンソーシアム内に「頂点に立つシステム拠点候補の適格性確認 WG(通称:システム拠点候補確認委員会)」を立ち上げ

- ✓ HPCI コンソーシアム総会にて報告(5月27日(月))(本日)
 - ✓ 拠点候補と HPCI コンソ WG, HPCI コンソ会員で内容確認のための意見交換会(6月10日(月))
 - ✓ HPCI コンソーシアム理事会に中間報告として報告(6月14日(金))
 - ✓ HPC コンソーシアム総会で中間報告として確定(6月17日(月))
 - ✓ HPCI コンソーシアムから文科省へ中間報告の提言(6月18日(火)頃)
- 内容確認のための意見交換会の日時, 場所
- ✓ 日時:6月10日(月)16時~18時
 - ✓ 場所:東京大学 生産技術研究所 D 棟 6 階 Dw601 会議室
- 内容確認のための意見交換会の当日の確認方法
- ✓ 拠点候補からのプレゼンテーション
 - ✓ 拠点候補の内容確認に関するコンソーシアム会員との意見交換
 - ✓ 確認委員は, 確認した内容についてのコメント, 及び総合的な評価結果として「適当・不適当」の判断を評価シートに記入
5. 意見交換会のポイントとなる項目
- 現段階で想定しているポスト「京」の開発の意義と必要性
- ✓ ポスト「京」で解決していこうと考えている科学的・社会的課題
 - ✓ ポスト「京」ならば実現できると考えている課題(「京」では実現できない課題)
 - ✓ ポスト「京」によって飛躍的に発展すると考えている分野の例
 - ✓ その他
- 現段階で想定しているポスト「京」の開発項目と開発・設置・運用体制
- ✓ ポスト「京」として想定しているシステム構成案のイメージと選択理由
 - ✓ ポスト「京」として想定しているシステムのおおまかな性能
 - ✓ CPU の設計・製造を含め我が国として重点を置いたほうがよいと考えている技術
 - ✓ ハードウェア, ソフトウェアを含めたポスト「京」のおおまかな開発スケジュール
 - ✓ 現在のリーディングマシンである「京」の開発結果(「京」の事後評価結果)とそれを踏まえて考えている改善策
 - ✓ 現在のリーディングマシンである「京」の人員体制を踏まえて, ポスト「京」で想定している運用, 保守, 維持の人員体制
 - ✓ その他
- 現段階で想定しているポスト「京」を活用するための拠点としての体制

- ✓ ポスト「京」において課題解決に必要と考えているアプリケーションの研究開発の体制やスケジュール
- ✓ ポスト「京」のみの利用に留まらず、その後、アカデミックや産業界等において利用が期待されると考えているアプリケーション開発の方策
- ✓ 拠点として想定する、アプリケーション開発に必要な人材育成方策、分野横断的協働に対する考え方
- ✓ その他

【報告第4号】

役員選出方法について

役員選出方法について報告する。(資料8)

平成 25 年 5 月 27 日提出

一般社団法人HCPIコンソーシアム
理事長 宇 川 彰

HPCIコンソーシアム役員選出に関する考え方

平成25年5月27日
コンソーシアム理事会

1. 報告（意見交換）の主旨

コンソーシアム役員の任期は「選任後2年以内の最終事業年度定時総会まで」と定められており、今期の役員任期は平成26年5月頃に予定される定期総会までとなる。はじめての役員選挙となるので、予め役員選挙の進め方について会員各位の意見を伺いたい。具体的な選挙内規は理事会にて作成する。

なお、役員は理事（3名以上12名まで）と監事（1名）から構成され、現在の理事数は10である。役員の再任は1回までとされている。参考のため、定款の一部を補足資料として添付する。

2. 基本的な考え方

- （1）役員は総会にて選任する（定款）。
- （2）総会に先立ってHPCIコンソーシアム正式会員による郵送投票を実施し、選挙によって総会にかかる理事候補者（以下二次候補者と呼ぶ）を選出する。
- （3）HPCIコンソーシアム正式会員全員が第一次理事候補者として郵送投票用紙に記載される。（注：議長、副議長選出の機関から登録された代理の正式会員を含む。但し、登録された同一機関から1名以上の理事が出ることはない）
- （4）第二次理事候補者予定最大人数は、理事会が提案し、総会にて承認を受ける。
- （5）選挙の結果選ばれた第二次理事候補者は選挙後最初の定例総会で承認を受ける。
- （6）選挙は、2月の理事会終了後から5月の定例総会前に実施する。
- （7）議長、副議長選出の機関の投票権は代理登録された正式会員が有する。

3. 選挙管理委員会

- （1）役員選挙管理委員会（WG）を理事会の元に設置し、選挙に関する実務を行う。
- （2）選挙管理委員会は4名とし、理事、理事以外の正式会員それぞれ半数とする。
- （3）理事以外の選挙管理委員会委員は、システム構成機関から1名、利用コミュニティ機関から各1名とする。
- （4）委員長は理事会の指名による。

4. 具体的な選出方法

- （1）郵送投票用紙には、第二次理事候補者予定最大人数を記載する。
- （2）投票用紙は、コンソーシアム正会員全員の氏名（代表する機関、所属機関、役職を付記）を記載する。投票用紙には、現理事がわかるようにリストの最初には現理事を並べ、それ以外は50音順とする。
- （3）投票用紙は投票権のあるコンソーシアム正会員全員に送付される。
- （4）投票権のある正会員は、第二次理事候補者予定最大人数の範囲で第二次理事候補者を選び、コンソーシアム事務局に郵送する。
- （5）投票結果から、得票数の多い順に、最大で予定された人数までを第二次理事候補者とする。

（注）今回の選挙は特殊事情下にあるため特例的な扱いが必要である（後述）。

- （6）開票は選挙管理委員会が行い、結果は委員長が理事会に報告する。

5. 今回の理事改選に関わる特例措置

一期目の理事が半数程度、二期目の(再任)理事が半数程度という理事会構成が成立すると、(理事全員が会員から不承認となるような事態が起きない限り)単純な得票数による第二次候補者の選出とすることでも、自動的に一定頻度で理事の入れ替えが起きる。ただし、今回H26春の理事改選は全員が一期目を終了する特別な状況であるため、上記の投票方式に従うと全員もしくは大多数の理事が継続となる可能性があり、上記の循環を作れない。そのため、以下のような例外措置をとる。

【今回の特例措置】

現理事に関しては、理事以外の会員の最大得票数を上回る範囲において、得票順に(最大で)予定理事数の半数までを再任第二次理事候補とする。現理事の第二次理事候補が半数を満たした場合は、それ以降は理事以外の会員から得票順に候補が選出される。これが半数に満たなかった場合、それ以降は得票順に第二次理事候補とするが、現理事に関しては、半数を満たしたところまでを第二次理事候補者とする。

正式会員数の1/4以上を最低得票数として設定し、これを下回るものは順位に関わらず第二次理事候補とはならない。

【お願い】

別途。

6. 監事選挙

(1) 定款上は継続可能だが、監事は一期で交代するものとする。

(2) 上記投票結果が総会で承認された後、開催される理事会にて理事長、副理事長と合わせて監事候補を指名し、総会にて承認を得る。

一般社団法人HPCIコンソーシアム定款 （抜粋）

第4章 役員及び職員

（役員及び選任）

第17条 本法人に次の役員を置く。

- （1）理事3名以上12名以内
- （2）監事1名
- 2 理事のうち、1名を一般法人法に規定する代表理事とし、理事長とする。その他の理事を同法第91条第1項に規定する業務執行理事とし、うち1名または2名を副理事長とする。
- 3 役員は原則として社員とし、総会において選任する。但し、役員のうち社員の資格を有しない者を必要に応じて5名以内の範囲で選任することができる。また、総会では、理事長及び副理事長となる者の候補者を選出し、理事会に推薦する。理事会は当該推薦を受けて、理事長及び副理事長を選定する。
- 4 理事及び監事は互いに兼任することができない。

（理事の職務）

第18条 理事長は、H P C I Cを代表し、その業務を執行する。

- 2 副理事長は理事長を補佐し、理事長が職務を遂行できない場合は、理事長があらかじめ定めた順序に従い、その職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を組織して、この定款に定めるもののほか、H P C I Cの総会の権限に属せしめられた事項以外の事項を決議し、執行する。

（監事の職務）

第19条 監事は、H P C I Cの業務及び財産に関し、次の職務を行う。

- （1）財産の状況を監査すること
- （2）理事の業務執行の状況を監査すること
- （3）財産の状況または業務の執行について不正の事実を発見したときは、これを理事会及び総会に報告すること
- （4）前号の報告のため、必要があるときは、理事会または総会を招集すること

(役員任期)

第20条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内の最終の事業年度に関する定時総会終結の時までとし、再任を妨げない。但し、再任は1回に限る。

2 任期途中で交代した場合の任期は、前任者の残存期間とする。

3 役員は、その任期満了後でも、後任者が就任するまでは、なおその職務を行う。

(役員解任)

第21条 役員に職務上の義務違反、その他H P C I Cの役員たるに相応しくない行為があると認められるとき、または心身の故障のため職務の執行に耐えられないと認められるとき、その他特別の事情があるときは、その任期中といえども、総社員の3分の2以上に当たる多数をもって、これを解任することができる。

(役員費用弁償)

第22条 役員は、その職務に対して報酬を受けない。ただし、職務を行うために要する費用の弁済を受けることができる。

2 費用の弁済の額及び支給方法は、理事会の決議を経て理事長が定める。

3 社員の資格を有しない役員のうち、総会の承認を受けた者は、第1項の定めに係わらず報酬を受けることができる。

4 年次予算における前項に定める報酬の総額及び支給方法は、総会の決議により定めるものとし、個別の報酬額の決定については理事会の決議を経て理事長が定める。

【報告第5号】

HPCI 課題利用の状況と平成25年度の予定

HPCI 課題利用の状況と平成25年度の予定について
登録施設利用促進機関からの報告を求める。(資料9)

平成 25 年 5 月 27 日提出

一般社団法人HPCIコンソーシアム
理事長 宇 川 彰

HPCI利用課題の状況及び平成25年度予定

平山 俊雄

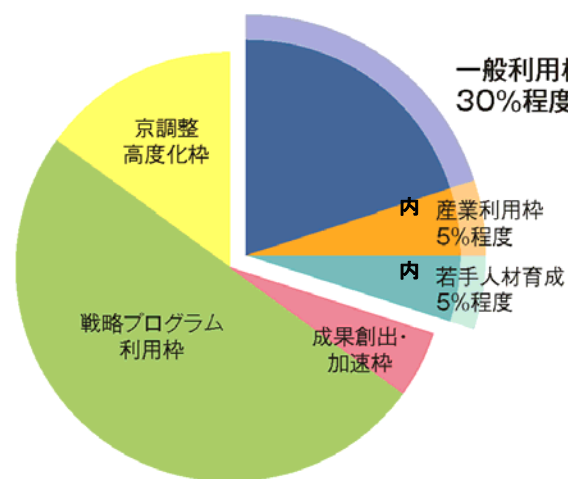
登録施設利用促進機関
一般財団法人 高度情報科学研究機構

平成25年5月27日
HPCIコンソーシアム総会

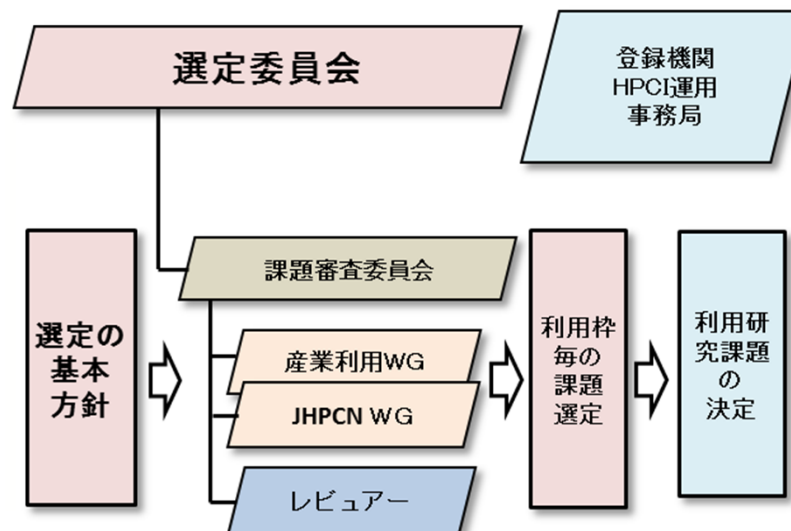
1. 「京」における利用枠の配分、利用者選定と選定結果

- ・平成24年4月11日、第1回選定委員会を開催し、利用者選定等の枠組みを決定。
- ・平成24年7月3日、第1回課題審査委員会を開催し、審査基準等を決定。
- ・平成24年9月3日「京」及びHPCIの利用者選定結果を公表。
- ・平成24年9月28日「京」及びHPCIの共用開始。
- ・「京」の利用者1,091名及びHPCIの利用者928名のアカウントを発行。

① 計算資源量の配分枠



② 透明、公正な課題選定のプロセス



③ 申請件数と選定件数

申請件数

京 一般利用	138
京 若手人材育成利用	58
京 産業利用 (トライアルユース)	4
京 産業利用 (実証利用)	22
京 産業利用 (個別利用非公開)	5
合計	227
HPCI資源 (京以外)	67
JHPCN **	51

選定件数・選定率

(平成24年9月3日)

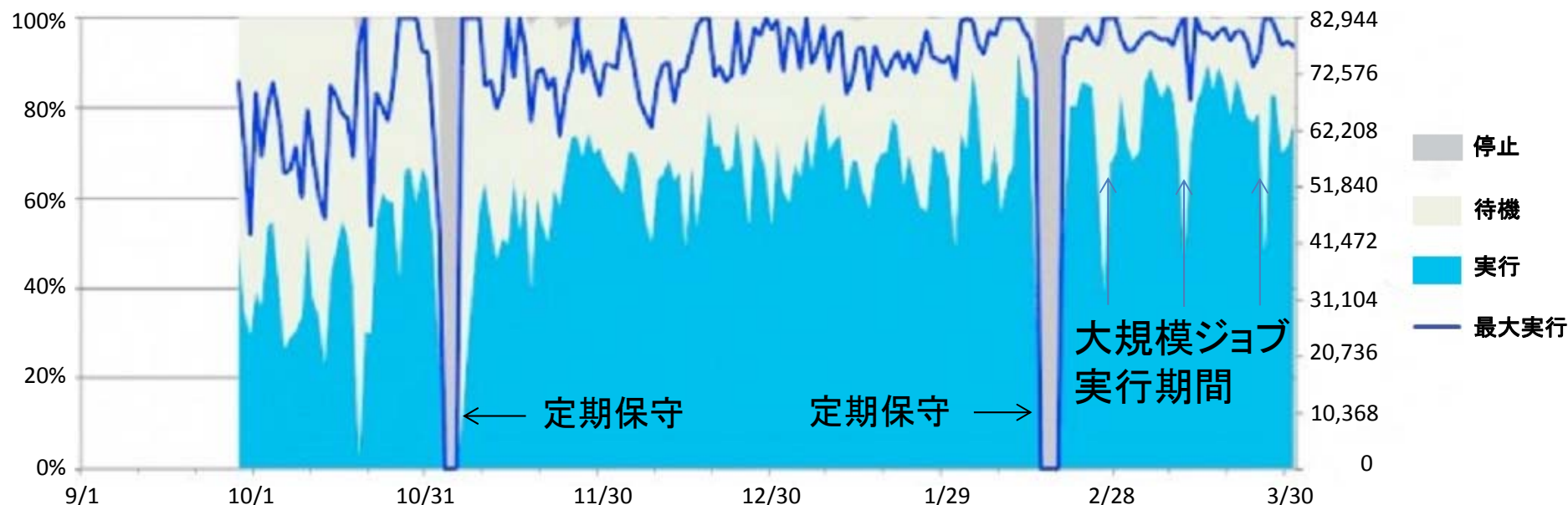
京 一般利用 (*)	29	21%
京 若手人材育成利用	8	14%
京 産業利用 (トライアルユース)	3	75%
京 産業利用 (実証利用)	17	77%
京 産業利用 (個別利用非公開)	5	100%
合計	62	27%
HPCI資源 (京以外)	57	85%
JHPCN**	31	61%

・「京」以外の資源のみを利用する課題と「京」と「京」以外の両方を利用する課題の合計。HPCI利用研究課題の申請総数としては、261件。

* これに加え、「京」準備のための課題20件を選定。

** 平成25年3月8日時点

2. 「京」のノード使用状況



上のグラフは、「京」の82,944個の計算ノードの使用状況を表しています。

(「最大実行」以外は、1日単位の平均値)

「停止」... システム保守等によりシステムが停止し、ジョブが受け付けられない計算ノード数

「待機」... ジョブの受付を待っている計算ノード数

「実行」... ジョブを実行している計算ノード数

「最大実行」... ジョブを実行している計算ノード数の一日の中での最大値

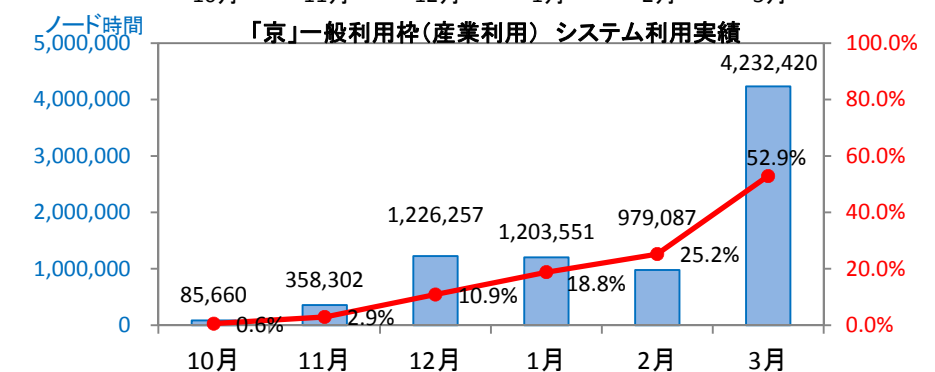
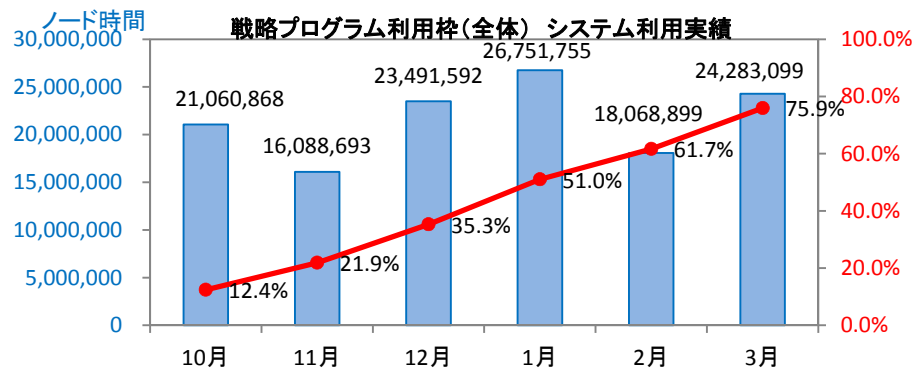
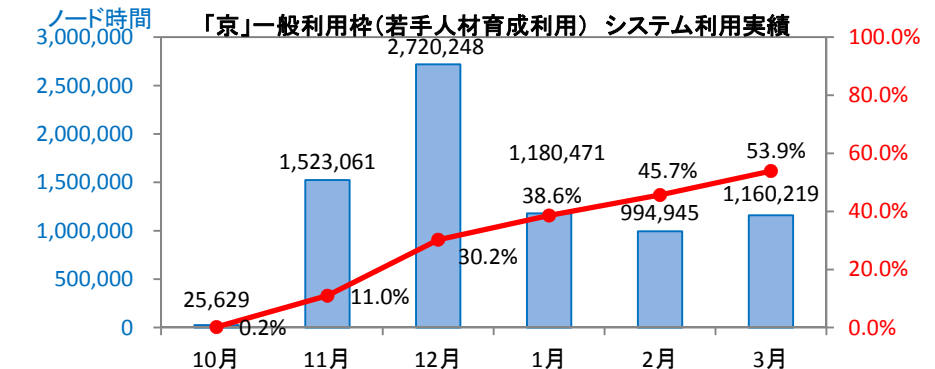
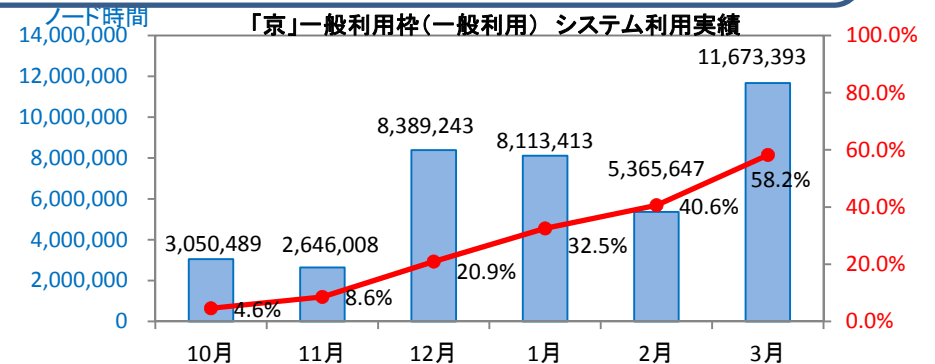
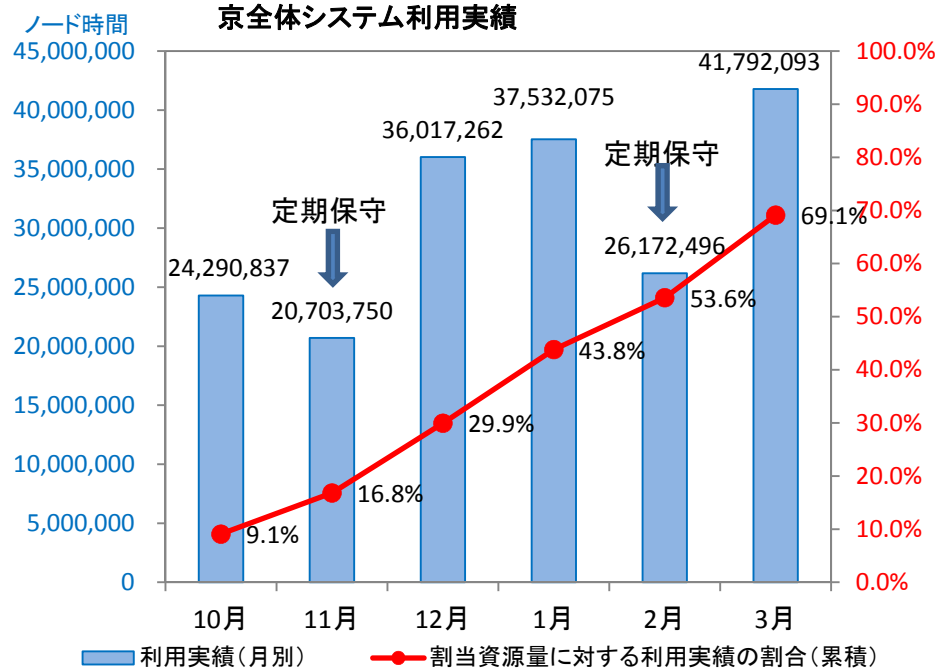
※2012年11月3～5日 電力設備の定期点検のための停電およびシステム保守のためシステムが停止しています。

※2013年2月14日12時～19日12時 定期保守のためシステムが停止しています。

(出典: 独立行政法人理化学研究所 計算科学研究機構ホームページ「京」の稼働状況より)

3.「京」の利用実績

- ・全利用課題に割り当てられた資源の消化率は約70%と、「京」の規模では高い値を達成
- ・戦略プログラムの資源消化率は約80%
- ・一般利用枠の資源消化率は約50～60%、第4四半期には「京」の利用が本格化



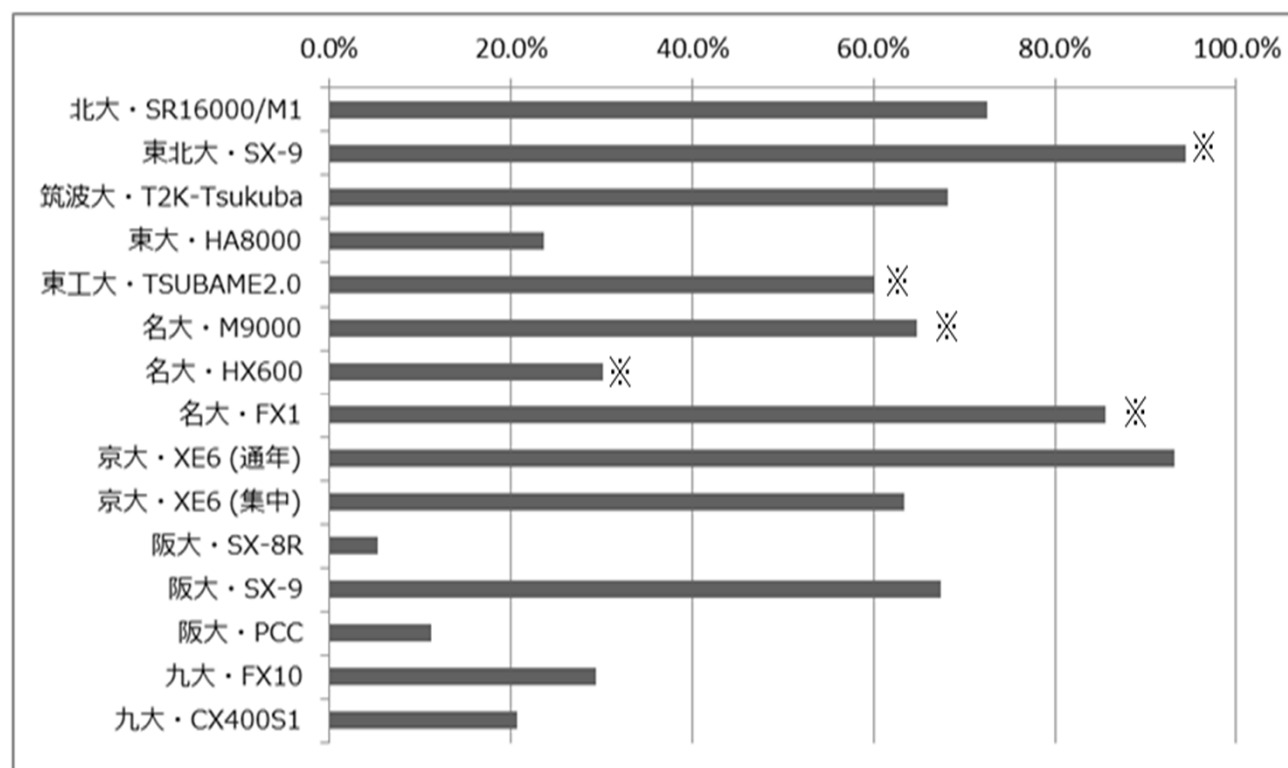
4. HPCIシステム計算資源の利用実績

① 申請件数と選定件数

申請件数 67 選定件数 57 選定率85%

② HPCI計算資源の利用実績

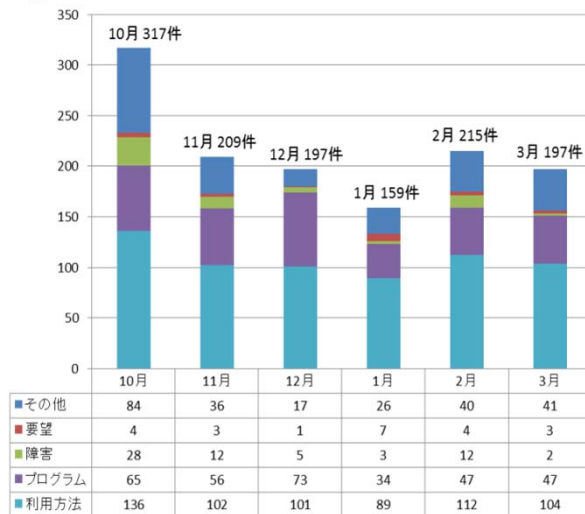
- ・割当て資源量に対する平成24年度下期の利用実績
- ・利用の促進を図ることが必要



定額制
* 従量制

5. 利用支援状況について

① ヘルプデスクの相談件数



- ① 9割強が「京」に関する相談
- ② 相談件数は10月が約300件、以降は約200件程度と横ばい傾向
- ③ 利用者からは的確、迅速、親切、満足等のコメント

② 「京」トライアル・ユース課題の状況（件数が着実に増加）

No	課題実施企業	利用結果等
1	三ツ星ベルト㈱	成果を得て1回目の利用終了。
2	東洋ゴム工業㈱	約2.5万並列までの大規模計算を実行し、1500並列までは線形に計算速度が向上することを確認。
3	茨城日立情報サービス㈱	高並列化(数十⇒2000)を達成し、良好な性能を確認。課題に適用した構造シミュレーションソフトの製品化を検討。
4	㈱半導体理工学研究センター	1回目の利用で計算上の問題と対応方針を明確化でき、2回目に応募。
5	三ツ星ベルト㈱	ゴムの解析のための技術検証という目的を達成して2回目の利用終了。
6	㈱本田技術研究所	3月より利用開始
7	昭和電工㈱	3月より利用開始
8	㈱半導体理工学研究センター	4月より2回目の利用を開始。
9	住友ベークライト㈱	対面認証待ち。
10	㈱地震工学研究開発センター	対面認証済み。アカウント発行待ち。
11	日本ゼオン㈱	対面認証待ち。
12	㈱フォーラムエイト	対面認証待ち。
13	川崎重工㈱	対面認証待ち。
14	応用地質㈱	対面認証待ち。

平成25年5月7日 時点

※No.1～5は終了した課題

③ 調整・高度化支援の状況（抜粋）

高度化支援課題数14課題（内、一般利用5、産業利用2、戦略7） 調整支援課題数42課題（内、一般利用19、産業利用8、戦略15）

No.	利用枠	高度化支援の状況
1	戦略プログラム・分野2	（問題点）ステージング環境での効率的なジョブの流し方と性能向上の方策がわからない。 （状況）実行時間の異なる複数ケースの実行を効率的に実行する方法を提案。また、実行時間が変動する原因がI/Oにあることを特定し、その処理を回避することで実行時間の変動を安定化させ、高速化させた。
2	戦略プログラム・分野4	（問題点）自動並列を適用してもその効果が出ていない （状況）行列解法部分を、OpenMPスレッド並列化でスケジューリングの最適化およびセクターキャッシュを適用し高速化した。次に前処理部分をマルチカラー化で並列化可能となったループに同様の最適化を行い、支援を終了。
3	戦略プログラム・分野3	（問題点）「京」での高速化方法がわからない。「京」で実行するたびに計算結果が異なる原因が特定できない。 （状況）計算コストが大きい上位5つのサブルーチンについて調査分析し、高速化案を提案。また、プログラム全体に対して、スレッド並列対象の軸を変更した方が効率上がることを提案。計算結果が異なる件については、原因を特定し、修正案を提示。
4	戦略プログラム・分野2	（問題点）高速化の余地がないか知りたい （状況）計算コストのホットスポット、並列実行のばらつき等の性能分析を実施。SIMD化の促進、ループ融合、OpenMPの効率的な指定、自動並列の有効活用、入力パラメータに対する最適な実行条件、高速な通信処理を有効にする方法などの改善案を提案し、支援を終了。

6. 成果発表件数(平成24年度下期)

平成25年5月15日時点

利用枠 成果	京		京 戦略プログラム					京以外のHPCI	合 計
	一般利用	産業利用	医療および 創薬基盤	新物質・ エネルギー創成	防災・減災に資する 地球変動予測	次世代ものづくり	物質と宇宙の 起源と構造		
論文(査読付き)	9	0	0	9	3	9	17	6	53
論文(査読なし)	2	0	0	0	5	2	1	6	16
国際会議・シンポジウム	41	0	7	26	29	50	16	14	183
国内学会・シンポジウム	42	6	5	14	34	42	17	12	172
研究会等	29	4	7	5	8	12	8	11	84
一般向け講演会・セミナー等	4	3	3	0	1	4	3	2	20
新聞・TV・雑誌・広報誌等	1	5	1	0	2	0	19	0	28
書 籍	0	0	0	1	2	0	0	0	3
プログラム・DB公開	2	0	0	0	0	0	0	0	2
特 許(出願を含む)	0	0	2	0	0	0	0	0	2
合 計	130	18	25	55	84	119	81	51	563

<https://www.hpci-office.jp/result/index.html>

戦略プログラムについては、共用開始前の利用期間
(2011/4~2012/9)の成果を含む

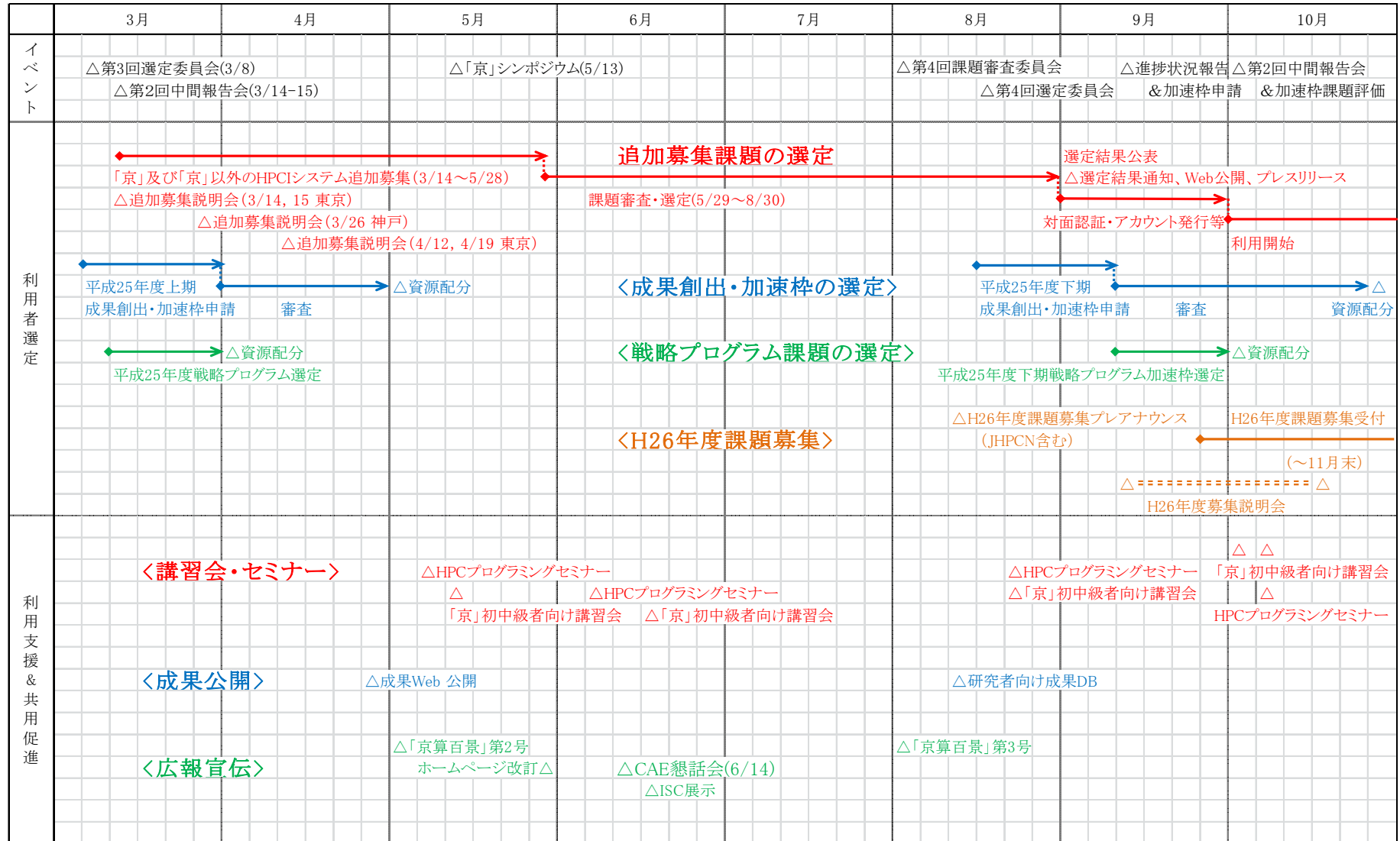
分類名	選択の基準
論文(査読付き)	会議論文(査読付き)、博士学位論文を含む。
論文(査読なし)	査読のない会議プロシーディングス、解説記事・報告記事・紀要、等
国際会議・シンポジウム	学協会主催の国際会議・シンポジウム。研究機関、コンソーシアム主催のものでも国際会議、国際シンポジウムと称するものは含める。
国内学会・シンポジウム	学協会主催の国内学会・シンポジウム。学術講演会、討論会も含む。研究機関、コンソーシアム主催のものでも、シンポジウム等と称するものは含める。
研究会等	研究会、研究集会、ワークショップ、報告会等と称するもの。国際集会も含む。
一般向け講演会・セミナー等	講習会、ブース展示、等も含む。

7. 募集中のHPCI利用研究課題

募集の種類	資源種別	新規・継続	資源量	実施時期	課題区分
追加募集	「京」	新規課題	1000万 ノード時間	H25下期	一般・若手・ 産業利用
	「京」以外の HPCI	新規課題	資源提供 機関による	H25下期	一般・ 産業利用
トライアル・ ユース	「京」	新規課題	5万ノード 時間/課題	随時 (6カ月)	産業利用
	「京」以外の HPCI	新規課題	資源提供 機関による	随時	産業利用

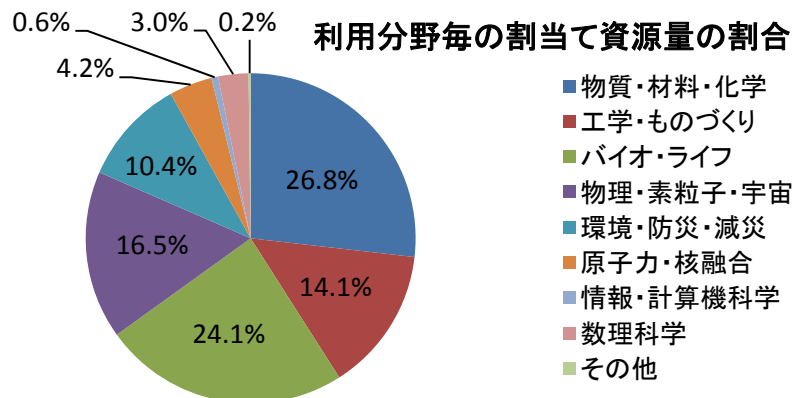
- 追加募集の募集期間：平成25年3月14日～平成25年5月28日
- 追加募集の利用期間：平成25年10月1日～平成26年3月31日

8. 平成25年度上期予定

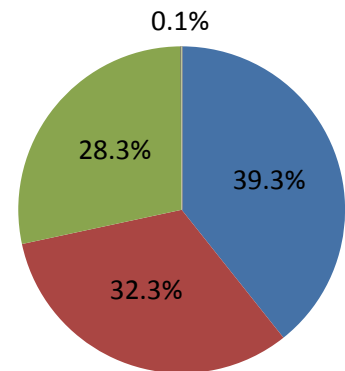
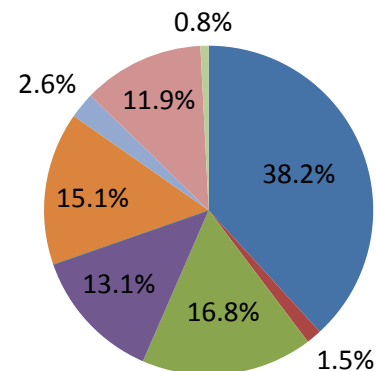
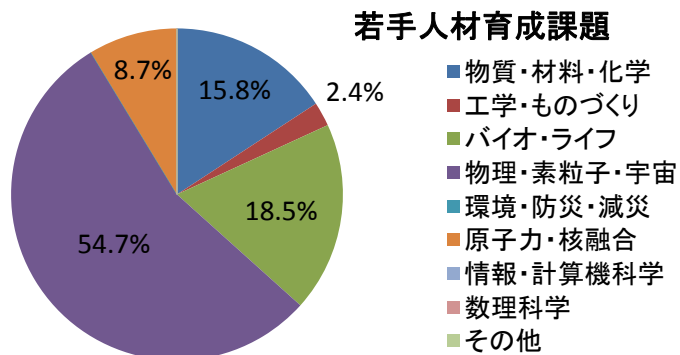
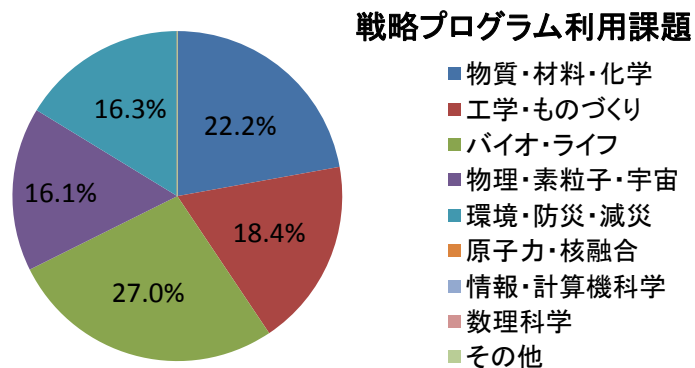


補.「京」における割当て資源量の割合

① 利用分野毎



② 課題種別毎の利用分野別



【報告第 号】

今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて報告する。(資料 10)

平成 25 年 5 月 27 日提出

一般社団法人HCPIコンソーシアム
理事長 宇 川 彰

今後のスケジュールについて

6 月 10 日（月） 次期システム拠点候補の確認委員会

場所：東京大学 生産技術研究所 D 棟 6 階 Dw601 会議室

時間：16:00 - 18:00

- ・ システムの構成や拠点機能についてヒヤリングと意見交換を行い、併せて中間報告に関して意見交換

6 月 14 日（金） コンソーシアム理事会

場所：理化学研究所東京事務所

時間：10:00 - 12:00

- ・ 次期システム拠点候補の確認委員会の報告を受け、中間報告最終案を審議

6 月 17 日（月） コンソーシアム臨時総会

場所：東京大学 生産技術研究所 D 棟 6 階 Dw601 会議室

時間：16:00 - 18:00

- ・ コンソーシアムの中間報告を審議議決

今後のHPCI計画に関する調査検討スケジュール（案）

平成25年5月17日

